

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-308772

(43)Date of publication of application : 17.11.1998

(51)Int.Cl.

H04L 12/54

H04L 12/58

G06F 13/00

H04M 3/42

H04M 11/00

(21)Application number : 09-119723

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 09.05.1997

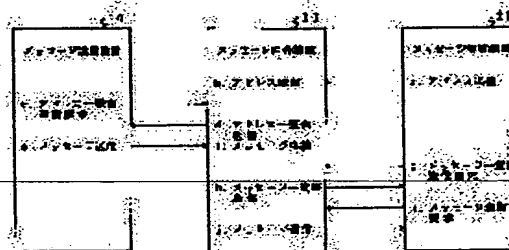
(72)Inventor : HONDA HIROHISA
NAKAMURA HIROSHI
ONO KOICHI

(54) MESSAGE COMMUNICATION SYSTEM AND MESSAGE MEDIATING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily specify an true address that is not specified only by specifying a message receiver and to send a message to the true address without fail in a message communication system which is included in a communication network such as an internet and a message mediating device which mediates a message.

SOLUTION: A message receiver 20 sends an address (e.g. an address is information that specifies a newly-married couple) which classifies messages that should be received by the receiver 20 itself to a message mediating device 30, and the device 30 associates the address sent from the receiver 20 with a message receiver that is a sending source of the address (e.g. a message receiver is installed in each wedding hall) and registers it and sends a list of addresses to a message transmitter 10 that is a requesting source in response to a request from the transmitter 10.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 13.03.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3523450

[Date of registration] 20.02.2004

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

特開平 10 - 308772

(43) 公開日 平成 10 年 (1998) 11 月 17 日

(51) Int. Cl. °	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H04L 12/54			H04L 11/20	101 B
12/58			G06F 13/00	355
G06F 13/00	355		H04M 3/42	Z
H04M 3/42			11/00	302
11/00	302			

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平 9 - 119723

(22) 出願日 平成 9 年 (1997) 5 月 9 日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号

(72) 発明者 本田 博久

熊本県上益城郡益城町田原 2081 番 27 号 株式会社富士通南九州システムエンジニアリング内

(72) 発明者 中村 浩士

熊本県上益城郡益城町田原 2081 番 27 号 株式会社富士通南九州システムエンジニアリング内

(74) 代理人 弁理士 山田 正紀

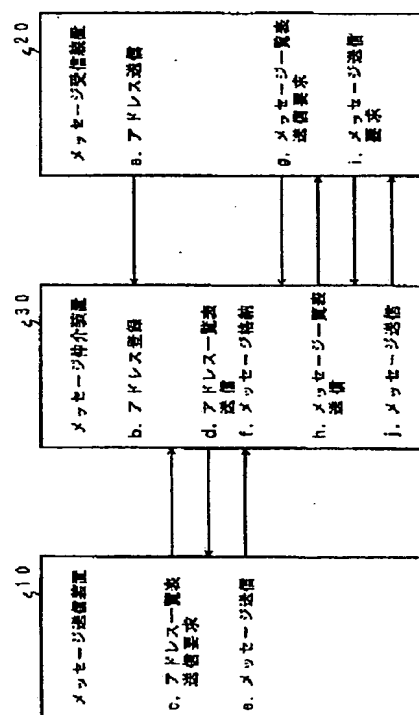
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 メッセージ通信システムおよびメッセージ仲介装置

(57) 【要約】

【課題】本発明はインターネット等の通信網内に組み込まれてメッセージの通信を行なうメッセージ通信システム、およびメッセージを仲介するメッセージ仲介装置に関し、メッセージ受信装置を特定するだけでは特定されない真のアドレスを容易に特定することができ、その真のアドレスにあてたメッセージを間違いなく届ける。

【解決手段】メッセージ受信装置 20 が、メッセージ仲介装置 30 に向けて、自分が受信すべきメッセージを分類するためのアドレス（例えば、新婚カップルを特定する情報をアドレスとする）を送信し、メッセージ仲介装置 30 は、メッセージ受信装置 20 から送信されてきたアドレスを、そのアドレスの送信元であるメッセージ受信装置（例えば、各結婚式場毎にメッセージ受信装置が設置されている）に対応づけて登録し、メッセージ仲介装置 30 は、メッセージ送信装置 10 からの要求に応じて、アドレス一覧表を要求元のメッセージ送信装置 10 に向けて送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メッセージの送信を担うメッセージ送信装置と、メッセージの受信を担うメッセージ受信装置と、メッセージ送信装置とメッセージ受信装置との間で送受信されるメッセージの送受信を仲介するメッセージ仲介装置とを有し、

メッセージ受信装置が、メッセージ仲介装置に向けて、自分が受信すべきメッセージを分類するための識別情報を含むデータを送信し、

メッセージ仲介装置が、メッセージ受信装置から送信されてきた識別情報を含むデータを、その送信元であるメッセージ受信装置に対応づけて登録し、

メッセージ仲介装置が、メッセージ送信装置からの要求に応じて、登録された識別情報を含むデータを要求元のメッセージ送信装置に向けて送信し、

メッセージ送信装置が、メッセージを、該メッセージの送信元を特定する情報および該メッセージの受信先の識別情報に対応づけてメッセージ仲介装置に向けて送信し、

メッセージ仲介装置が、メッセージ送信装置から送信されてきたメッセージを、該メッセージの受信先の識別情報に対応づけて格納し、メッセージ受信装置からの要求に応じて、要求元のメッセージ受信装置に対応づけられて登録された識別情報毎に分類されてなるメッセージを、該要求元のメッセージ受信装置に向けて送信するものであることを特徴とするメッセージ通信システム。

【請求項 2】 不特定複数のメッセージ送信装置と複数の特定されたメッセージ受信装置、および 1 つのメッセージ仲介装置が、情報伝送路を介して互いにネットワーク接続されたものであることを特徴とする請求項 1 記載のメッセージ通信システム。

【請求項 3】 メッセージの送信を担う複数のメッセージ送信装置と、メッセージの受信を担うメッセージ受信装置との間で送受信されるメッセージの送受信を仲介するメッセージ仲介装置において、

メッセージ受信装置から送信されてきた識別情報を含むデータを登録する登録手段と、

メッセージ送信装置からの要求に応じて、登録された識別情報を含むデータを要求元のメッセージ送信装置に向けて送信する送信手段と、

メッセージ送信装置から送信されてきた、送信元を特定する情報および受信先を特定する情報が対応づけられてなるメッセージを、該メッセージの受信先の識別情報毎に分類して格納するメッセージ格納手段と、

メッセージ受信装置からの要求に応じて、前記識別情報毎のメッセージを、該要求元のメッセージ受信装置に向けて送信するメッセージ送信手段とを備えたことを特徴とするメッセージ仲介装置。

【請求項 4】 メッセージ受信装置から送信され前記登録手段で登録されるデータが、前記識別情報毎に対応づ

けられるメッセージの受付期限をあらわす情報を含むものであることを特徴とする請求項 3 記載のメッセージ仲介装置。

【請求項 5】 メッセージ受信装置から送信され前記登録手段で登録されるデータが、識別情報毎のイベント内容を特定する情報を含み、受信装置対応に一覧表示可能な編集機能を有することを特徴とする請求項 3 記載のメッセージ仲介装置。

【請求項 6】 メッセージ送信装置から送信され前記メッセージ格納手段により格納されるメッセージが、音声メッセージを含むものであることを特徴とする請求項 3 記載のメッセージ仲介装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット等の通信網内に組み込まれてメッセージの通信を行なうメッセージ通信システム、およびメッセージを仲介するメッセージ仲介装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、加入者どうしの間でメッセージを送受信する、いわゆるコンピュータ通信、例えばインターネット等が盛んである。コンピュータ通信では、多数の加入者端末それぞれがアドレスを有し、ある端末から相手端末のアドレスを指定してメッセージを送信することにより、そのメッセージを相手端末に届けることができる。また、このようなコンピュータ通信では、あらかじめ用意されたメッセージを、不特定多数のいずれかの加入者端末からのアクセスに応じてその加入者端末に届ける、例えばホームページなどと称されるシステムも存在する。

【0003】例えば実願平 8 - 2 6 3 2 号には、結婚式を挙げようとするカップルの式場選びの効率化と、結婚式場業者の宣伝費用や労力の削減を狙って、結婚式場の案内に関するホームページをインターネットによりネットワーク化する手法が開示されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、祝電に代え、何らかのメッセージをコンピュータ通信を利用して結婚式場に送りその結婚式場で挙式あるいは披露宴を行なおうとしているカップルにそのメッセージを届けようとする場合、従来は、そのメッセージを送り届けようとするカップルがどの結婚式場で何日の何時に挙式あるいは披露宴を行なおうとしているのか、そのコンピュータ通信システムとは全く独立に知る必要があり、さらに、その挙式あるいは披露宴を行なおうとしている結婚式場のアドレスも調べる必要があり、極めて煩雑である。また、仮に、上記のことをそのコンピュータ通信システムとは独立に調べた上でコンピュータ通信システムを介して所定の結婚式場にメッセージを届けるとしても、そのコンピュータシステムのアドレスを持っているのは結婚

式場であり、一方、メッセージを届けようとする相手は、その結婚式場自身ではなく、その結婚式場で挙式あるいは披露宴を行なおうとしている新婚カップルであり、アドレスと真の届け先とのずれをどう解消するかが問題である。

【 0 0 0 5 】本発明は、上記事情に鑑み、メッセージの受信を担当するメッセージ受信装置のアドレス（例えば上記の場合の結婚式場）とメッセージを届けるべき真のアドレス（例えば上記の場合のカップル）とがずれている場合であっても、メッセージの送信を担当するメッセージ送信装置側で、メッセージ受信装置のアドレスとメッセージを届けるべき真のアドレスとの対応関係を容易に知り、真のアドレスに宛てたメッセージを間違いなく送受信することのできるメッセージ通信システム、およびそのようなメッセージ通信システムに好適なメッセージ仲介装置を提供することを目的とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】図 1 は、本発明のメッセージ通信システムの原理説明図である。このメッセージ通信システムは、メッセージの送信を担うメッセージ送信装置 1 0 と、メッセージの受信を担うメッセージ受信装置 2 0 と、メッセージ送信装置 1 0 とメッセージ受信装置 2 0 との間で送受信されるメッセージの送受信を仲介するメッセージ仲介装置 3 0 とを有する。

【 0 0 0 7 】ここで、メッセージ送信装置 1 0 およびメッセージ受信装置 2 0 は、図 1 には代表的に 1 つずつのみ図示しているが、典型的には、それぞれ複数ずつ存在する。本発明のメッセージ通信システムは、メッセージ受信装置 2 0 が、メッセージ仲介装置 3 0 に向けて、自分（メッセージ受信装置 2 0）が受信すべきメッセージをイベント対応に分類する識別情報としてのアドレスを送信し（a）、メッセージ仲介装置 3 0 が、メッセージ受信装置 2 0 から送信されてきたアドレスを、そのアドレスの送信元であるメッセージ受信装置 2 0 に対応づけて登録し（b）、メッセージ仲介装置 3 0 が、メッセージ送信装置 1 0 からの要求（c）に応じて、登録されたアドレスをあらわすアドレス情報が各メッセージ受信装置毎に分類されてなるアドレス一覧表を要求元のメッセージ送信装置 1 0 に向けて送信し（d）、メッセージ送信装置 1 0 が、メッセージを、そのメッセージの送信元を特定する情報およびそのメッセージの受信先のアドレスを特定する情報に対応づけてメッセージ仲介装置 3 0 に向けて送信し（e）、メッセージ仲介装置 3 0 が、メッセージ送信装置 1 0 から送信されてきたメッセージを、そのメッセージの受信先のアドレスに対応づけて格納し（f）、メッセージ受信装置 2 0 からの要求（g）に応じて、要求元のメッセージ受信装置 2 0 に対応づけられて登録されたアドレスに関する、各メッセージの送信元を特定する送信元情報が各アドレス毎に分類されてなるメッセージ一覧表を、その要求元のメッセージ受信

装置 2 0 に向けて送信するとともに（h）、その要求元のメッセージ受信装置 2 0 からの要求（i）に応じて、要求元のメッセージ受信装置 2 0 に向けて送信したメッセージ一覧表中に送信元情報が記されてなるメッセージのうちの要求に応じたメッセージを、その要求元のメッセージ受信装置 2 0 に向けて送信するものであることを特徴とする。

【 0 0 0 8 】本発明のメッセージ通信システムでは、メッセージ受信装置 2 0 が、メッセージ仲介装置 3 0 に向けて、自分が受信すべきメッセージを分類するためのアドレス（例えば、前述した、新婚カップルを特定する情報をアドレスとする）を送信し、メッセージ仲介装置 3 0 は、メッセージ受信装置 2 0 から送信されてきたアドレスを、そのアドレスの送信元であるメッセージ受信装置 2 0（例えば、各結婚式場毎にメッセージ受信装置が設置されている）に対応づけて登録し、メッセージ仲介装置 3 0 は、メッセージ送信装置 1 0 からの要求に応じて、アドレス一覧表を要求元のメッセージ送信装置 1 0 に向けて送信するものであるため、メッセージを送ろうとするメッセージ送信装置側では、そのアドレス一覧表を自分のメッセージ送信装置に送信するよう要求し、そのメッセージ送信装置側では、送られてきたアドレス一覧表を参照することにより、そのコンピュータ通信システム上で、目的とするアドレス（メッセージを届けようとする相手先、例えば挙式を行なおうとしている新婚カップル）に対応するメッセージ受信装置（装置としてのアドレス、例えば結婚式場）を容易に知り、そのメッセージ受信装置のそのアドレスに向けてメッセージを送信することができる。

【 0 0 0 9 】また、本発明のメッセージ通信システムでは、メッセージ仲介装置 3 0 は、メッセージ送信装置 1 0 から送信されてきたメッセージを、そのメッセージの受信先のアドレスに対応づけて格納し、メッセージ受信装置からの要求があると、その要求元のメッセージ受信装置に関するメッセージ一覧表を要求元のメッセージ受信装置に向けて送信するため、メッセージ受信装置 2 0 側では、そのメッセージ一覧表を見て、どのアドレス（そのメッセージを届けるべき真のアドレス）に向けてメッセージが送信されてきているかを容易に知ることができる。

【 0 0 1 0 】ここで、上記本発明のメッセージ通信システムにおいて、メッセージ送信装置 1 0、メッセージ受信装置 2 0、およびメッセージ仲介装置 3 0 が、インターネットで互いに接続されたものであることが好ましい。今や、メッセージ通信システムの中でもインターネットが最も広く普及しており、本発明のメッセージ通信システムを構築するにあたり、新たな通信網体系を構築するよりも、広く普及している既存の通信網体系を利用した方が、コストやそのシステムの加入のしやすさ等の点で圧倒的に有利だからである。

【0011】図2は、本発明のメッセージ通信システムの原理ブロック図である。本発明のメッセージ仲介装置30は、図1に示すように、メッセージの送信を担うメッセージ送信装置10と、メッセージの受信を担うメッセージ受信装置20との間で送受信されるメッセージの送受信を仲介する装置である。本発明のメッセージ仲介装置30は、図2に示すように、メッセージ受信装置から送信されてきたアドレスを、そのアドレスの送信元であるメッセージ受信装置に対応づけて記憶部36に登録するアドレス登録手段31と、メッセージ送信装置からの要求に応じて、登録されたアドレスをあらわすアドレス情報が各メッセージ受信装置毎に分類されてなるアドレス一覧表を要求元のメッセージ送信装置に向けて送信するアドレス送信手段32と、メッセージ送信装置から送信されてきた、送信元を特定する情報および受信先のアドレスを特定する情報が対応づけられてなるメッセージを、そのメッセージの受信先のアドレスに対応づけて記憶部36に格納するメッセージ格納手段33と、各メッセージの送信元を特定する送信元情報がメッセージ受信装置に対応づけられて登録された各アドレス毎に分類されてなる、各メッセージ受信装置毎のメッセージ一覧表を作成する一覧表作成手段34と、メッセージ受信装置からの要求に応じて、要求元のメッセージ受信装置に関するメッセージ一覧表をその要求元のメッセージ受信装置に向けて送信するとともに、その要求元のメッセージ受信装置からの要求に応じて、その要求元のメッセージ受信装置に向けて送信したメッセージ一覧表中に送信元情報が記されてなるメッセージのうちの要求に応じたメッセージを、その要求元のメッセージ受信装置に向けて送信するメッセージ送信手段35とを備えたことを特徴とする。

【0012】ここで、本発明のメッセージ仲介装置において、メッセージ受信装置から送信されアドレス登録手段31で登録されるアドレスが、そのアドレスに対応づけられるメッセージの受付期限をあらわす情報を含むものであってもよい。受付期限の存在しない（メッセージをいつでも受け付ける）アドレスが存在していてもよいが、アドレスの数が増えすぎるとメッセージの送信側も受信側も煩雑となるため、受付期限を設け、その受付期限の過ぎたアドレスを消去することにより、アドレスの数の無用な増加を防ぐことができる。

【0013】また、本発明のメッセージ仲介装置において、メッセージ受信装置から送信されアドレス登録手段31で登録されるアドレスが、新婚カップルを特定する情報を含むものであってもよい。本発明の好適な適用分野の1つとして、結婚式場にメッセージ受信装置を設置し、その結婚式場を利用する新婚カップルを特定する情報を本発明にいうアドレスとして採用することが考えられる。

【0014】また本発明のメッセージ仲介装置におい

て、メッセージ送信装置から送信されメッセージ格納手段33により格納されるメッセージが、音声メッセージを含むものであることが好ましい。音色メッセージを含むことにより、より多彩なメッセージを送り届けることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について説明する。図3は、本発明のメッセージ通信システムの一実施形態の概要図である。ここには、メッセージの送受信を行なおうとする多数のコンピュータ（クライアント）100_1, 100_2, 100_3, ..., 100_nと、クライアントどうしの間のメッセージの送受信を仲介するコンピュータ（サーバ）200が示されており、これらクライアント100_1, 100_2, 100_3, ..., 100_nとサーバ200は、インターネット300で接続されている。

【0016】多数のクライアント100_1, 100_2, 100_3, ..., 100_nの何台かは、結婚式場、ないし結婚式や披露宴を執り行なうホテル等に設置されている。ここではクライアント100_3が、そのような結婚式場等に設置されているものとし、例えばクライアント100_1が、メッセージ1を、インターネット300を経由し、かつサーバ200を仲介して、クライアント100_3に送信するものとする。クライアント100_3側では、受信したメッセージは紙2やカセットテープ3等の媒体に記録（録音）され、そのメッセージの宛先人4に届けられる。

【0017】各クライアント100_1, 100_2, 100_3, ..., 100_nは、それぞれがコンピュータシステムからなり、各コンピュータシステムには、代表的にクライアント100_2に符号を付したように、CPUやハードディスク等を内蔵した本体部101、そのコンピュータシステムに各種の情報を入力するためのキーボード102、画面を表示する画像表示装置103、および表示画面上の任意のポイントを指定するマウス104等が備えられている。また、音声入力用のマイクロホン105や、音声再生用のスピーカ106や、音声録音用のカセットテープレコーダ107や、あるいは印刷用のプリンタ108などが備えられたクライアントも存在する。

【0018】図4は、2台のクライアントがサーバを介してメッセージを送受信する際の手順を示した図である。ここでは、図4の左側のクライアントは、図3に示すクライアント100_1に相当する、メッセージの発信者であるクライアント（ここではクライアント1と称する）であり、図4の右側のクライアントは、結婚式場等に設置された、図3に示すクライアント100_3に相当するクライアント（ここではクライアント2と称する）である。

【0019】先ず、クライアント2は、サーバに対し、

ユーザIDやパスワード等を送るログインを行ない、サーバは、それを受けて、そのクライアント2がこのシステムの加入者であるか否かユーザ認証を行なう（ステップ（2））。次いで、クライアント2は、サーバに対し、所定の登録情報をサーバに登録するための画面である登録情報送信画面をクライアント2にダウンロードするように依頼し（ステップ（3））、サーバは、その要求を受けて、そのクライアント2が正規の加入者であるときは、登録情報送信画面をクライアント2にダウンロードする（ステップ（4））。クライアント2は、そのダウンロードされた画面を見ながら必要事項を入力してサーバに向けて送信する（ステップ（5））。サーバは、その送信されてきた登録情報を自分の内部に登録する（ステップ（6））。ここで、登録情報送信画面は複数の画面の組合せからなり、ここでは、簡単のため登録情報送信画面を1回のみダウンロード依頼して1回のみダウンロードされるように記されているが、実際には、前ページの画面上での操作に応じて次の画面がダウンロードされる。

【0020】図5～図7は、クライアント2に表示される登録情報送信画面例を表わした図である。図5は、初期画面であり、クライアント2の画像表示装置103（図3参照）には、先ず図5に示す初期画面が表示される。尚、ここでは、クライアント2は、札幌Aホテルに設置されており、「札幌Aホテル」の名称でその札幌Aホテルに設置されたクライアント2の装置としてのアドレスが同定されるものとする。

【0021】図5に示す初期画面には、「セレモニー操作」と「メッセージ操作」との2つのアイコンが表示されている。ここでは、クライアント2のマウス104（図3参照）が操作されて「セレモニー操作」のアイコンがクリックされる。「メッセージ操作」については後述する。図5に示す初期画面上で「セレモニー操作」がクリックされると、図6に示すセレモニー操作画面に移行する。このセレモニー操作画面には、「新規登録」、「変更」、「削除」、「照会」の4つのアイコンが存在する。ここでは「新規登録」をクリックするものとする。

【0022】図6に示すセレモニー操作画面で「新規登録」がクリックされるとクライアント2では、図7に示すアドレス情報入力画面が表示され、クライアント2のキーボード102（図3参照）が操作され、この画面の各対応する領域に本発明にいうアドレスを表わす情報、すなわち、新郎名、新婦名、披露宴日時、披露宴会場、メッセージの受付期限、新郎新婦からのメッセージが、画面上の各領域に入力される。さらに、この図7に示すアドレス情報入力画面には、図示しないデジタルカメラで撮影され、そのデジタルカメラからクライアント2にローディングされた写真の一覧をあらわす「新郎新婦の写真指定」画面も表示されており、その画面上から

ここで入力した新郎新婦の写真が選択される。すると、その新郎新婦の写真が、この画面上の写真表示欄に表示される。

【0023】さらに、このアドレス情報入力画面には、「登録」と「キャンセル」との2つのアイコンが表示されており、上記のようにして入力した情報が正しければ「登録」のアイコンがクリックされる。誤りを発見したときは「キャンセル」がクリックされて再度入力が行なわれる。「登録」がクリックされると、この画面上に入力した情報がサーバに送られ、サーバでは、ここに入力した情報が、その情報を入力したクライアント2に対応づけられて格納される。

【0024】図6に示す「変更」、「削除」、「照会」のアイコンは、上記のようにしてサーバに一旦登録された情報を、それぞれ、変更、削除、照会する場合にクリックされるアイコンであり、これらいずれのアイコンをクリックした場合も、クライアント2から、サーバに、既に登録された情報をクライアント2にダウンロードするよう要請がなされ、サーバでは、その要請を受けて、クライアント2に、そのクライアント2に関する登録情報をダウンロードする。「変更」の場合は、そのダウンロードされた画面で登録情報が変更され、「削除」の場合は、そのダウンロードされた画面上で削除すべき情報が指定されて削除され、「照会」の場合は情報の確認が行なわれる。具体的な画面例の提示および詳細説明は省略する。

【0025】図4に戻り、今度はメッセージの発信者であるクライアント1とサーバとの間の通信について説明する。メッセージを送信しようとするクライアント1は、サーバに対し、自分のユーザIDやパスワードを送るログインを行ない（ステップ（7））、サーバは、それを受けて、そのクライアント1がこのシステムの加入者であるか否か認証を行なう（ステップ（8））。次いで、クライアント1は、サーバに対し、メッセージ送信画面をダウンロードするよう依頼し（ステップ（9））、サーバはその依頼を受けて、そのクライアント1が正規の加入者であったときはメッセージ送信画面をクライアント1にダウンロードする（ステップ（10））。クライアント1側では、そのダウンロードされた画面を見ながら、メッセージを含む必要事項を入力してサーバに送信する（ステップ（11））。サーバは、その送信されてきたメッセージを受信すると（ステップ（12））、メッセージが到着した旨クライアント1に通知する（ステップ（13））。クライアント1では、その通知を受けて、メッセージの送信作業をひとまず終了する。尚、ステップ（32）の「到着メール受信」については後述する。サーバでは、メッセージ到着通知（ステップ（13））を行なった後、メッセージを、各クライアント毎、かつ各クライアントの各アドレス（新郎新婦名等）毎に振り分けて格納する（ステップ（1

5)) 。

【 0 0 2 6 】ここで、メッセージ送信画面ダウンロード依頼 (ステップ (9))、およびメッセージ送信画面ダウンロード (ステップ (1 0)) は、簡単のためそれぞれ 1 回のみ行なわれるように記されているが、前述の登録情報送信画面と同様、メッセージ送信画面も複数枚の画面からなり、クライアント 1 による前ページ画面上での指定に応じて次の画面がサーバからダウンロードされるように構成されている。また、図 4 では、メッセージ送信 (ステップ (1 1))、およびメッセージ受信 (ステップ (1 2)) も単純に記されているが、実際には、後述するように、必要に応じて、結婚式場の検索等の操作も行なわれる。

【 0 0 2 7 】図 8 ～図 1 8 は、クライアント 1 におけるメッセージ送信画面例をあらわした図である。図 8 は、県名一覧画面であり、クライアント 1 でメッセージを入力する際の初期画面である。新郎の名前もしくは新婦の名前はわかるが、どこの結婚式場で挙式するのか不明の場合、この初期画面上で「フルネーム (漢字)」、「フルネーム (カナ)」、「姓 (漢字)」、「姓 (カナ)」の 4 つのアイコンの中から 1 つを選び、選んだ状態に従って、「新郎または新婦名」の欄に新郎または新婦の姓名、もしくは姓が入力される。入力ミスがあったときは「キャンセル」のアイコンがクリックされて再入力される。「検索」のアイコンがクリックされると、サーバでは「新郎または新婦名」の欄に入力された姓名または姓に基づく検索が実行され、その検索に用いた姓名または姓に一致する姓名または姓を持つアドレスが登録されていた場合に、その情報がクライアント 1 に送信されて表示される。クライアント 1 では、送信されてきた情報に基づいて、メッセージを送ろうとするカップルおよびそのカップルが結婚式を挙げようとする結婚式場名や日時を知ることができる。

【 0 0 2 8 】図 8 に示す県名一覧画面において、結婚式場名が分るときは、先ず県名一覧表の中からその結婚式場が存在する県名のアイコンがクリックされる。ここでは、「北海道」がクリックされたものとする。すると、次に、図 9 に示す、結婚式場一覧画面が表示される。この図 9 に示す結婚式場一覧画面には、前ページでクリックされた北海道に存在する、このメッセージ通信システムに加入している結婚式場 (結婚式を執り行なうホテル、セレモニーホール等を含む) の名前の一覧が表示される。この図 9 に示す結婚式場一覧の中から、メッセージを届けようとする相手が挙式ないし披露宴を行なうとしている結婚式場のアイコンをクリックする。ここでは「札幌 A ホテル」がクリックされたものとする。

【 0 0 2 9 】すると、次に、図 1 0 に示すセレモニー一覧画面が表示される。このセレモニー一覧画面には、前ページでクリックされた「札幌 A ホテル」で挙式が予定されているカップルの一覧が表示される。例えば山田太

郎と鈴木花子のカップルは、1997 年 5 月 5 日 12 時 00 分から鶴の間に披露宴が執り行なわれること、その披露宴が始まる 1 時間前の 1997 年 5 月 5 日 11 時 00 分までこのカップルあてのメッセージを受け付けることが、そのカップルの写真とともに表示される。本実施形態では、新郎新婦の名前をあらわす情報、あるいは新郎新婦の名前とともに、披露宴開催日時、場所、メッセージ受付期限等をあらわす情報が、本発明にいうアドレスに対応する。

【 0 0 3 0 】ここでは、図 1 0 に示す画面上で山田太郎、鈴木花子のカップルを示すアイコンがクリックされたものとする。すると、次に、図 1 1 に示すメッセージ発信方法指定画面が表示される。この画面上には、前ページでクリックされた山田太郎、鈴木花子のカップルの写真が前ページ (図 1 0 に示すセレモニー一覧画面) よりも大きく表示されるとともに、クライアント 2 側で図 7 に示す情報入力画面上で入力された新郎新婦のメッセージが表示されるとともに、メッセージの差出人に関する情報の入力欄が表示される。ここでは、差出人の氏名、住所、電話番号 (TEL)、電子郵便の番号 (E-mail) が入力され、さらに「メッセージの到着確認通知」が「要」であるか「不要」であるかがクリックされる。この「メッセージの到着確認通知」は、図 4 のステップ (1 3) に示すメッセージ到着通知ではなく、ステップ (3 1) に示す到着メールの送信を要求するか否かを指示する欄である。到着メールについては後述する。

【 0 0 3 1 】図 1 1 に示すメッセージ発信方法指定画面上では、さらに、メッセージの発信方法として、「例文より選ぶ」、「ページ上入力」、「アップロード」、および「音声入力」の 4 つのアイコンの中の 1 つがクリックされる。ここでは、「例文より選ぶ」のアイコンがクリックされたものとする。図 1 2 は、前ページで「例文より選ぶ」がクリックされたときに表示されるメッセージ入力画面である。この画面上には、いくつかのメッセージの例文と、いくつかのイラストの見本と、いくつかの台紙の見本が表示される。

【 0 0 3 2 】メッセージは、祝電の電文に相当し、イラストは、2 つ折りの祝電を見開いたときの、電文とともに表示される図案に相当し、台紙は、その祝電を折り畳んだときの表紙の図案に相当する。「メッセージ例文」、「イラスト集」、「台紙」の中から 1 つずつをクリックすることにより、それぞれを選択する。間違えてクリックしたときは、「やり直し」のアイコンをクリックすることにより再度選択し直すことができる。「確認」のアイコンをクリックすると、次のメッセージ確認画面に移る。

【 0 0 3 3 】図 1 3 は、前ページで「確認」のアイコンをクリックしたときに表示されるメッセージ確認画面である。ここには、前ページで選択したメッセージ例文、

イラストが、相手先に送り届けられる形式で表示される。誤ったときは「やり直し」のアイコンをクリックすると、前ページのメッセージ入力画面に戻り、「おめでとう」のアイコンをクリックすると、このメッセージがサーバに送信され、サーバがそのメッセージを受け取ると、サーバからクライアント 1 に向けて、メッセージが到着した旨通知がなされ（図 4 ステップ（13））、クライアント 1 ではその通知が表示される。また、サーバでは、その受け取ったメッセージおよび図 11 に示すメッセージ発信方法指定画面で入力された差出人情報が、図 9 に示す結婚式場一覧画面で指定された結婚式場（クライアント 2）、および図 10 に示すセレモニー一覧画面で指定された、新婚カップル名等からなるアドレスに対応づけられて格納される。

【0034】図 14 は、メッセージがサーバに到着したことをあらわすサンキューメッセージ画面を示す図である。クライアント 1 では、このサンキューメッセージ画面により、メッセージがサーバに届いたことを確認することができる。「ホームページ」のアイコンをクリックすると、図 8 に示す初期画面に移行する。図 15 は、図 11 に示すメッセージ発信方法指定画面上で「ページ上入力」のアイコンをクリックしたときに表示されるメッセージ入力画面である。

【0035】図 12 に示すメッセージ入力画面と同様に「イラスト集」と「台紙」が表示されるが、メッセージの例文は表示されず、それに代わり、メッセージ入力欄が表示される。このメッセージ入力欄には、このクライアント 2 のキーボード 102（図 3 参照）から、自由なメッセージが入力される。「確認」のアイコンをクリックすると、図 3 に示すメッセージ確認画面と同様なメッセージ確認画面が表示される。ただし、図 13 のメッセージ確認画面ではメッセージ例文より選択されたメッセージが表示されているが、それに代わり、図 15 のメッセージ入力画面上で入力した自由なメッセージが表示される。

【0036】図 16 は、図 11 に示すメッセージ発信方法指定画面上で、「アップロード」のアイコンをクリックしたときに表示されるメッセージ入力画面である。ここでは、送信しようとするメッセージが格納されている記憶媒体を特定するディレクトリ（図 16 に示す例では「C:」）が指定される。するとその指定されたディレクトリ C: に格納されたファイル一覧が表示される。その段階で所望のファイルをクリックすることにより、そのクリックされたファイルに格納されたメッセージがアップロードされる。このメッセージ入力画面では、「台紙」も選択されるが、「イラスト」は、ファイル内に自由に作成されているものを使うこととし、イラストの例示、選択は行なわれない。

【0037】図 17 は、図 11 に示すメッセージ発信方法指定画面上で、「音声入力」をクリックしたときに表

示されるメッセージ入力画面を表わした図である。ここでは、送信しようとする音声メッセージが格納されている記憶媒体を特定するディレクトリ（図 17 に示す例では「C:」）が指定される。すると、その指定されたディレクトリ C: に格納された音声ファイル一覧が表示される。その段階で所望の音声ファイルをクリックすることにより、その音声ファイルに格納された音声メッセージがアップロードされる。

【0038】所望の音声メッセージがアップロードされた後、「確認」アイコンをクリックすると、図 18 に示す音声再生中であることをあらわす音声再生画面が表示されるとともに、スピーカから音声が流れる。「おめでとう」のアイコンをクリックすると、この音声メッセージがサーバに向けて送信される。サーバでのその後の取り扱いは、文章等のメッセージの場合と同様である。

【0039】図 4 に戻り、今度は、サーバからクライアント 2 へのメッセージの送信について説明する。クライアント 2 が自分に向けたメッセージを受け取ろうとするときは、サーバに対し、ログインを行なう（ステップ（16））、サーバでは、それを受けて、ユーザ認証を行なう（ステップ（17））。次いで、クライアント 2 は、サーバに向けて、メッセージ受信画面をダウンロードするよう依頼し（ステップ（18））、サーバは、その依頼を受けて、クライアント 2 向けのメッセージ一覧を作成して（ステップ（19））、そのメッセージ一覧を含むメッセージ受信画面をクライアント 2 にダウンロードする（ステップ（20））。クライアント 2 では、そのメッセージ受信画面から所望のメッセージを選択し（ステップ（21））、そのメッセージのダウンロードを依頼する（ステップ（22））。すると、サーバでは、そのダウンロードの依頼を受けたメッセージを編集し（ステップ（23））、その編集したメッセージをクライアント 2 にダウンロードする（ステップ（24））。クライアント 2 では、そのダウンロードされてきたメッセージを受信し（ステップ（25））、そのメッセージを表示（音声の場合は音声を再生）し（ステップ（26））、そのメッセージを印刷ないし録音する（ステップ（27））。それら一連の処理が終了すると、クライアント 2 は、サーバに向けて、そのダウンロードされてきたメッセージの印刷ないし録音が完了した旨を通知する（ステップ（28））。サーバは、その完了通知を受信すると（ステップ（29））、そのメッセージの発信元であるクライアント 1 により、図 11 に示すメッセージ発信方法指定画面上の「メッセージの到着確認通知」の欄で「要」が指定されていた場合、メッセージが最終的にクライアント 2 まで届けられたことをクライアント 1 に知らせるための到達メールが作成されて（ステップ（30））、クライアント 1 に向けて送信される（ステップ（31））。クライアント 1 では、この到達メールを受信し（ステップ（32））、クライアント 1 側で

は、この到達メールにより、自分が送ったメッセージがクライアント2にまで到着したことを確認することができる。

【0040】図19は、メッセージ一覧を含むメッセージ受信画面の一覧をあらわした図である。ここには、この札幌Aホテルのクライアント2宛の多数の電文（文字、イラスト等からなるメッセージ）や音声（音声メッセージ）がカップル別に一覧表として表示されている。

【0041】例えば、山田太郎、鈴木花子のカップルには、長島春男から4月30日19時34分に電文が届けられ、小林次郎から4月21日19時00分に電文が届けられ、山本元子から4月21日23時40分に音声メッセージが届けられ、さらに高橋、高見からも、それぞれ音声メッセージ、電文が届けられていることが示されている。他のカップルについても同様である。

【0042】ここで、「検索（日取り）」の欄に年月日を入力して「検索」をクリックすると、その入力した年月日に挙式が予定されているカップルに関するメッセージ一覧のみ表示される。ここで、「長島春男」のアイコンをクリックすると、長島春男が発信元となったメッセージがサーバからクライアント2にダウンロードされ、クライアント2に図20に示すメッセージ表示画面が表示される。このメッセージ表示画面上の「印刷」のアイコンをクリックすると、そのメッセージが、プリンタにより紙に印刷される。

【0043】また、図19に示すメッセージ受信画面上で、音声メッセージを送った「山本花子」のアイコンをクリックすると、図21に示す音声再生画面が表示されるとともにスピーカからその音声メッセージが流れる。図21の音声表示画面上の「再生」アイコンをクリックすると、今流れた音声、カセットテープレコーダにより、カセットテープに録音される。

【0044】このようにして印刷、録音されたメッセージは、披露宴会場に持ち込まれ、出席者に披露される。メッセージ受付期限を過ぎ、かつそのカップルに関するメッセージが全てクライアント2にダウンロードされると、そのカップルについてのアドレスはサーバから消去される。

【0045】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、メッセージ受信装置を特定するだけでは特定されない真のアドレスを容易に特定することができ、その真のアドレスに宛てたメッセージを間違いなく届けられることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のメッセージ通信システムの原理説明図である。

【図2】本発明のメッセージ通信システムの原理ブロック図である。

【図3】本発明のメッセージ通信システムの一実施形態

の概要図である。

【図4】2台のクライアントがサーバを介してメッセージを送受信する際の手順を示した図である。

【図5】メッセージ受信側のクライアントに表示される初期画面を表わした図である。

【図6】メッセージ受信側のクライアントに表示されるセレモニー操作画面を表わした図である。

【図7】メッセージ受信側のクライアントに表示されるアドレス情報入力画面を表わした図である。

10 【図8】メッセージ送信側のクライアントにおける県名一覧画面を表わした図である。

【図9】メッセージ送信側のクライアントにおける結婚式場一覧画面を表わした図である。

【図10】メッセージ送信側のクライアントにおけるセレモニー一覧画面を表わした図である。

【図11】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ発信方法指定画面を表わした図である。

【図12】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ入力画面を表わした図である。

20 【図13】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ確認画面を表わした図である。

【図14】メッセージ送信側のクライアントにおけるサンキューメッセージ画面を表わした図である。

【図15】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ入力画面を表わした図である。

【図16】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ入力画面を表わした図である。

【図17】メッセージ送信側のクライアントにおけるメッセージ入力画面を表わした図である。

30 【図18】メッセージ送信側のクライアントにおける音声再生画面を表わした図である。

【図19】メッセージ一覧を含むメッセージ受信画面の一覧をあらわした図である。

【図20】メッセージ表示画面をあらわした図である。

【図21】音声再生画面をあらわした図である。

【符号の説明】

1 メッセージ

2 紙

3 カセットテープ

4 宛先人

10 メッセージ送信装置

20 メッセージ受信装置

30 メッセージ仲介装置

31 アドレス登録手段

32 アドレス送信手段

33 メッセージ格納手段

34 一覧表作成手段

35 メッセージ送信手段

36 記憶部

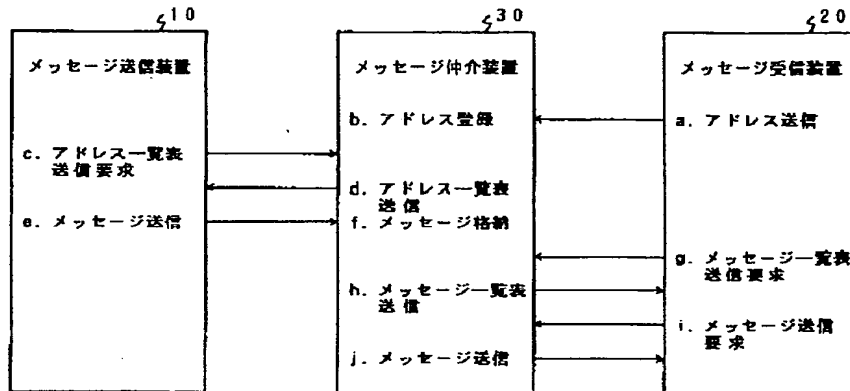
50 100_1, 100_2, 100_3, ..., 100_n

クライアント

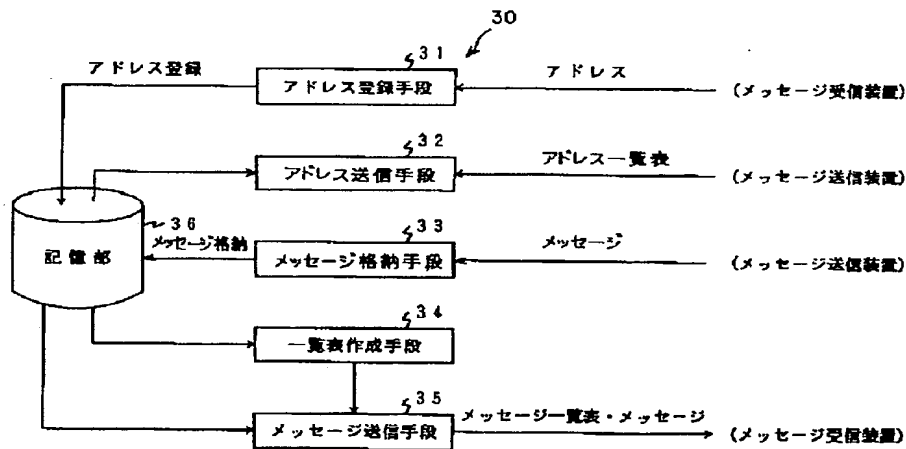
- 101 本体部
- 102 キーボード
- 103 画像表示装置
- 104 マウス
- 105 マイクロホン

- 106 スピーカ
- 107 カセットテープレコーダ
- 108 プリンタ
- 200 サーバ
- 300 インターネット

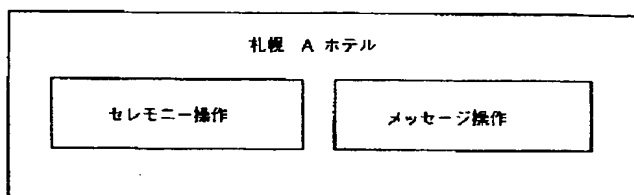
【図 1】



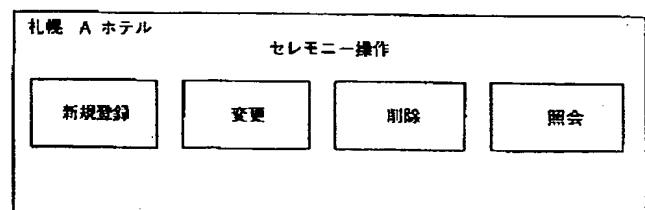
【図 2】



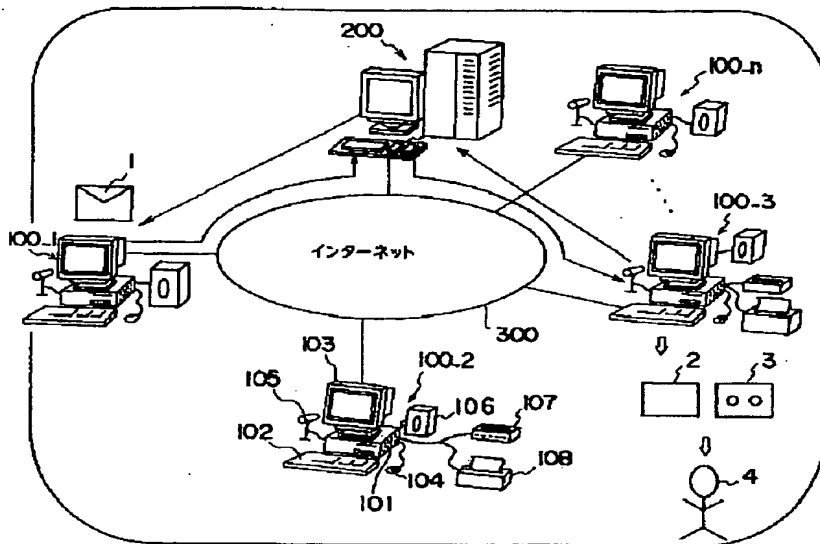
【図 5】



【図 6】



【図3】



【図7】

札幌 A ホテル セレモニー登録

新郎名 新婦名

披露宴日時 年 月 日 時 分

披露宴会場

受付期限 年 月 日 時 分

新郎新婦からのメッセージ (100文字以内)

(写真)

新郎新婦の写真指定

D:	(ファイル名)	(ファイル形式)	(ファイル作成日時)	↑
couple 1	GIFファイル	97/3/10	13:00	
couple 2	GIFファイル	97/3/12	14:30	
couple 3	GIFファイル	97/3/16	16:20	

登録 キャンセル

【図8】

結婚式場名が分からないとき

○フルネーム (漢字) ○フルネーム (カナ) ○姓 (漢字) ○姓 (カナ)

新郎または新婦名 検索 キャンセル

結婚式場名が分かるとき

北海道	岩手県	山形県	新潟県	千葉県	神奈川県
青森県	福島県	栃木県	東京都	山梨県	静岡県
秋田県	宮城県	茨城県	群馬県		

中部地方	近畿地方	滋賀県
長野県	富山県	京都府
愛知県	石川県	大阪府
岐阜県	福井県	三重県
		兵庫県

【図10】

札幌 A ホテル

山田 太郎様♡鈴木 花子様

(写真) 披露宴 1997年5月5日 12:00～ 鶴の間
受付期限 1997年5月5日 11:00まで

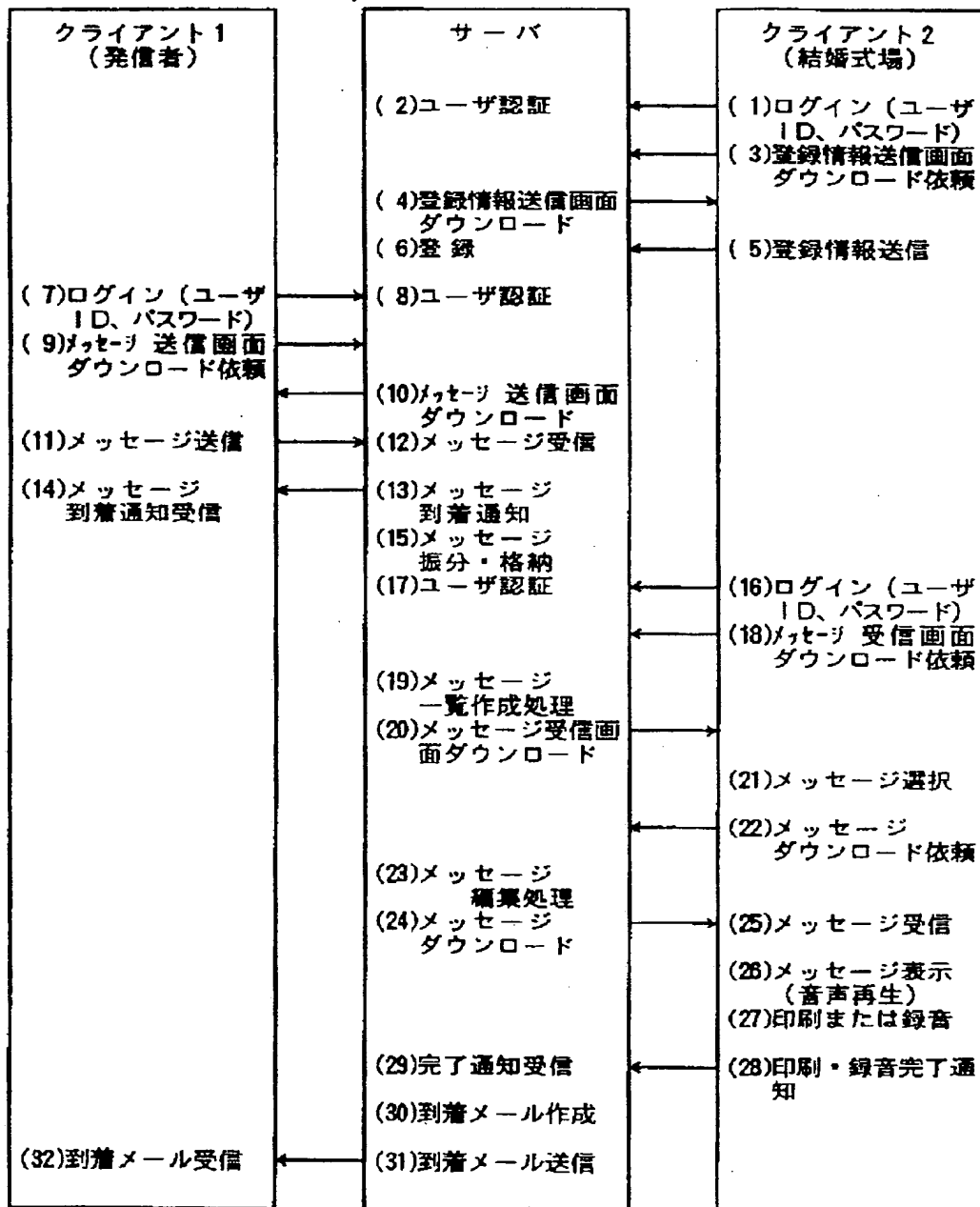
斉藤 一郎様♡小林 順子様

(写真) 披露宴 1997年5月5日 12:00～ 松の間
受付期限 1997年5月5日 11:00まで

佐藤 和夫様♡木村 千恵様

(写真) 披露宴 1997年5月5日 15:00～ 松の間
受付期限 1997年5月5日 14:00まで

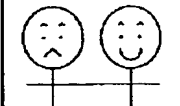
【図 4】



【図 9】

北海道 A ホテル	網走市	函館市
札幌市	網走Fホテル	函館Iホテル
札幌Aホテル
Bホテル札幌	帯広市	室蘭市
札幌Cセレモニーホール	帯広Gホテル	室蘭Sホテル
札幌D結婚式場
...	旭川市	...
釧路市	旭川Hホテル	...
釧路Eホテル

【図 11】



実は結婚します。今まで黙っていてごめんなさい。
ユニークなメッセージ待っています。

差出人情報を入力してください。

氏名

住所

TEL

E-Mail

メッセージの到着確認通知 ●要 ○不要

次のメッセージの発信方法を選択してください。

例文より選ぶ : 例文とイラスト及び台紙が表示されます。その中から1つずつ選択できます。なお、例文と台紙は必ず選択してください。

ページ上入力 : メッセージ入力領域とイラスト及び台紙が表示されます。その中から1つずつ選択できます。なお、メッセージの入力と台紙は必ず選択してください。

アップロード : 既に作成済のメッセージ(音声含む)を送信する場合に選択します。

音声入力 : 音声を直接入力することができます。

【図 12】

メッセージ例文

♡ご結婚おめでとうございます。末永いお幸せをお祈りいたします。

♡ご結婚おめでとうございます。ふたりの門出に乾杯

♡ご結婚おめでとうございます。.....

イラスト集

台紙

確認を選択すると確認画面が表示されます。

【図 13】

メッセージ確認

1997年5月吉日

イラスト 山田 太郎様 鈴木 花子様

ご結婚おめでとうございます。

末永いお幸せをお祈りいたします。

東京都大田区蒲田1-1-1
長島 春男

おめでとうを選択すると発信されます。

【図 14】

山田 太郎様、鈴木 花子様宛のメッセージを受け付けました。

またのご利用を心よりお待ちしております。

1997年4月30日 21:34
メッセージ受付センター

【図15】

イラスト集

台紙

ご結婚おめでとうございます。
お二人の幸せを心からお祈りいたします。
今後ともよろしくお願いします。

確認を選択すると確認画面が表示されます。

やり直し

確認

【図16】

台紙

(ファイル名)	(ファイル形式)	(ファイル作成年月日)
message1	Microsoft Word	97/3/10 13:00
message2	一太郎ファイル	97/3/12 14:30
message3	一太郎ファイル	97/3/16 18:20
message4	Microsoft Word	97/3/17 10:25

C: _____

確認を選択すると確認画面が表示されます。

やり直し

確認

【図18】

(音声再生画面)

音声確認後おめでとうを選択すると送信されます。

やり直し

おめでとう

【図17】

(ファイル名)	(ファイル形式)	(ファイル作成年月日)
message 1	音声ファイル	97/3/10 13:00
message 2	音声ファイル	97/3/12 14:30
message 3	音声ファイル	97/3/16 18:20
message 4	音声ファイル	97/3/17 10:25

C: _____

確認を選択すると音声が消れます。

やり直し

確認

【図19】

札幌 A ホテル

メッセージ一覧

検索 (日取り) _____ 年 _____ 月 _____ 日

キャンセル

検索

山田 太郎	♡鈴木 花子	1997年5月5日	12:00	鏡の間
長島 寿男		4月30日	19:34	電文
小林 次郎		4月21日	19:00	電文
山本 元子		4月21日	23:40	音声
高橋 伸二		4月22日	3:25	音声
高見 太郎		4月22日	21:42	電文
斎藤 一郎	♡小林 順子	1997年5月5日	12:00	校の間
三原 順子		4月10日	23:23	音声
松田 元雄		4月11日	1:00	電文
山口 智子		4月11日	9:35	音声
佐藤 和夫	♡木村 千恵	1997年5月5日	15:00	松の間
堀 大次郎		4月13日	12:20	電文
青井 三郎		4月13日	18:20	音声

【図20】

1997年5月吉日

(イラスト)

山田 太郎様 鈴木 花子様

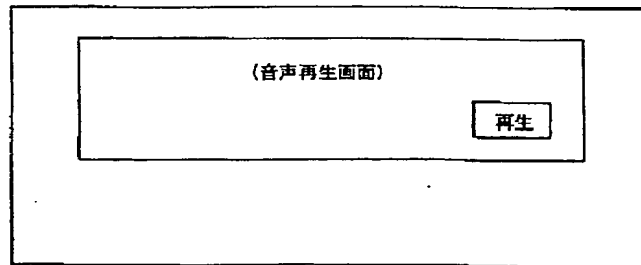
ご結婚おめでとうございます。
末永い幸せをお祈り申し上げます。

東京都大田区蒲田1-1-1
長島 寿男

印刷

前ページへ

【図 2 1】



フロントページの続き

(72)発明者 小野 浩一
熊本県上益城郡益城町田原 2 0 8 1 番 2 7
号 株式会社富士通南九州システムエンジ
ニアリング内